

平成 27 年 8 月 20 日

質問・要望書

平塚市長 落合克宏 殿

神奈川県平塚市黒部丘 8-1 5  
湘南ベルマーレサポーターズ協議会  
事務局 猪俣光司

晩夏の候、貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

平塚市が平成 26 年 10 月から平成 27 年 3 月に開催した「Shonan BMW スタジアム平塚改修検討会議（以下、改修検討会議）」について、当方からの情報開示請求により平成 27 年 5 月に報告書を受領いたしました。真摯なるご対応、誠にありがとうございます。

これを受けて私たちは、報告書の説明会を開催させていただきました。本日は、この報告会中に出た意見をまとめ、下記 2 点を質問並びに要望事項として提出させていただきます。ご査収の上ご回答をいただけますと幸甚です。

記

1. 改修検討会議後の平塚市の対応進捗状況についての質問

本年 3 月からの湘南ベルマーレ J1 リーグホームゲームでも、入場者数は昨年を大きく上回る伸びを示し、ファーストステージ終了までのリーグ戦 9 試合の平均入場者数は 12,148 名、収容者数 15,100 人に対する収容率は 80.45%と、J1 クラブ中 2 位の高い数値をとっています。その中でも 14,000 人を超える試合は 3 試合あり、その際の各スタンド内では身動きが取れない程の混雑状況となってしまう、必ずしも観戦者に安心安全なスタジアム環境を提供しているとは言い難い状況になっていました。

スタジアム内では、昨年度実施された一部トイレ改修等に対して利用者から喜びの声が上がる一方、混雑時の施設全体に対する不満が顕在化してきています。改修費用や諸状況を踏まえると、計画実現には数年を要するとする現実も私たちは認識していますが、いま起きている状況を鑑みるに、これまで以上に早急な対応が必要になっている事も感じています。

その上で、私たちは、報告書の中の「Jリーグや陸上競技大会の安定的な開催や利便性向上のためには早急な対策を取る必要があるとし、具体的な改修スケジュールを定め、早期の改修を行う必要がある」との結論を受け、今年度以降平塚市としてどう計画していくのかと言うロードマップについて質問させていただきます。

## 2. 改修検討会議改修案の具体化に際しての要望

改修検討会議の報告書には、現在のShonan BMWスタジアム平塚がJ1ライセンスを充たしていないだけでなく、観戦環境に問題があることが述べられています。この問題意識は私たちサポーターが持っている認識とほぼ一致しています。と同時に改修にかかる費用について現実的な選択として「改修案2」を基本とする事は理解できます。しかしながら下記の2点については具体的計画立案を進める当たり、再考をお願いしたいところです。

改修案2にあるJ1ライセンスを最低限充たす改修の場合、収容者数を17,000人と想定しています。しかしながら、すでに入場者数14,000人を越える試合が3試合ある中で、現在の湘南ベルマーレの好成績、遠藤航選手の日本代表への選出によるメディア露出の増加は、ホームタウンの人口規模並びに近隣クラブの来場者から考えるに、潜在的な需要を更に生み出し、収容人数17,000人では不十分になると考えます。具体的な計画段階では18500~20000人規模の収容人数が必要と考えています。

又、改修案2をこれまで私たちが署名活動で求めてきた内容と比較すると、ゴール裏のコンコース設置で動線は改善されるものの、問題としてきた観戦環境は全く改善されておらず、私たちが求めるスタジ

アム像からはかなりの隔たりがあると感じられます。立ち見である事は ACL の開催要項緩和によりクリアできる事で譲歩できますが、「Jリーグ有数の見にくいゴール裏」に対しての改善策が掲げられていない点は非常に残念です。

改修案の具体化に際してはこの収容人数の問題と、ゴール裏（サイドスタンド）の観戦環境改善を再考いただきたく要望します。

## 付記

最後に報告会では改修の方向性に対する意見、疑問が多く寄せられましたので、代表的なものを下記に掲げさせていただきます。

「基本となる 50 億円には建設本体工事のほかに解体仮設等の付帯工事費用は組み込まれているのか？組み込まれていないとすると総額ではもう少し増えるのではないか。と考えるならば、現在土地取得の問題が残っているが、サッカーくじの助成金や政府からの補助金を活用し、専用球技場を新設ができる可能性がある。同時に県中西部の文化的側面を捉えた中で神奈川県との協力を得る事ができないか？」

「こうした経費に対する効果を、単なる改修ではなく、まちづくりの中に積極的に組み込むため、平塚市経済界や文化界を巻き込んで議論の場を拡大していく必要があるのではないか？今のままでは競技場をどう考えるかというビジョンのようなモノが伺えない。ライセンス充足を急ぐ余りに、施設の可能性や将来性あるいは投資効果という視点が議論し尽くされていないのではないか？」

スタジアム環境の改善は、私たちの願いです。しかし、同時に市民中心に多くの負担をお願いすることになります。それ故に、平塚市は元より湘南地域の人々に愛される、人が集まりそこから情報発信が行われる地域のランドマークとしての施設になることを願っています。拙速に走る事無くよりよい方向での実現を願っております。

以上